

すくすくおっばい通信 第42号

令和8年 3月号

寒さの中にも少しずつ春の気配が感じられる季節となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は麻酔分娩について紹介します。当院では新たな取り組みとして2025年7月より妊娠経過の順調な経産さんを対象に麻酔（和痛）分娩を開始いたしました。

麻酔分娩は硬膜外麻酔（背中から細いチューブを入れて痛みを感じにくくする薬を少しずつ入れていく方法）を使用して陣痛の痛みを和らげながらする方法です。痛みを完全になくすことを目的とするのではなく、「陣痛の感覚やいきむタイミングがわかるレベルに痛みをコントロールする」のが目的です。



麻酔（和痛）分娩のメリットは

- 陣痛の痛みを和らげる。
- 落ち着いた気持ちで赤ちゃんを迎えることができる。
- 体力の消耗をできるだけ抑えることにより産後の回復が早くなる。



出産は母子ともに安全であることが最優先です。麻酔分娩はさらに麻酔科医師と連携して、緊急時にも迅速に対応できる体制を整備し、通常分娩と同様に丁寧な管理を行っています。経験された方からは「計画して出産を迎えられ、心の準備ができた。」「リラックスした雰囲気、緊張がとて和らいだ」との感想をいただいています。

麻酔分娩はあくまでも選択肢のひとつで、大切なのはどんなお産でも「自分らしくお産をし、安心して育児がスタートできること」です。ご自身がどのように赤ちゃんを迎えたいか、ご家族とともに考えてみませんか？

地域勉強会を開催しました

先日2月13日に5西病棟主催で「妊産婦のこころを支えること」をテーマに、当院に勤務する国家資格である公認心理士の佐藤さんを講師に迎え、産科勉強会を開催しました。妊娠期から産後の心に寄り添うケアの大切さを改めて共有する機会となりました。

心理士がチームの一員として関わっていることは当院の強みのひとつですが、妊産婦支援は当院のスタッフだけで完結できるものではありません。妊娠・出産・子育てを支えるためには、地域の医療機関や関係職種の皆様とともに支えていくことが不可欠です。当日は院内外から医師、保健師、助産師、看護師、看護教員、医療ソーシャルワーカーなど多くの方にご参加いただきました。短い時間ではありましたが、情報交換の時間を設けることもできました。今回の勉強会をきっかけに今後も地域の皆様と顔の見える関係を築きながら、妊産婦さんご家族を地域みんなで切れ目のない支援体制づくりへとつなげていきたいと考えております。

ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

